

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-133849

(P2004-133849A)

(43) 公開日 平成16年4月30日(2004.4.30)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	F I		テーマコード (参考)
GO8B 21/00	GO8B 21/00	A	2F013
GO1F 23/24	GO1F 23/24	B	2F014
GO1F 23/44	GO1F 23/44		2F073
GO8C 23/02	GO8C 23/00	C	5C086

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号	特願2002-300155 (P2002-300155)	(71) 出願人	301034751 有限会社秋山調査設計 香川県丸亀市川西町北1039-11
(22) 出願日	平成14年10月15日 (2002.10.15)	(72) 発明者	代表取締役 秋山 健一郎 香川県丸亀市川西町北1039-11
		Fターム(参考)	2F013 BB01 BG20 CA18 CB10 2F014 AA08 AB02 DA01 2F073 AA19 AB02 BB01 BC05 CC08 GG04 5C086 AA12 BA11 CA03 CB31 DA02 FA02

(54) 【発明の名称】 警報装置

(57) 【要約】

【課題】現在の雨量警報は、広域雨量に基づいて自治体が出しているが、地域によるばらつきや、前日までの雨量が考慮されていないために誤差が大きい。

【解決手段】実際の土砂災害発生機構を3つの雨量タンクを用いて危険雨量の到来が判定できる構造とし、過去の災害例における雨量データから想定した危険雨量に達する手前で警報が鳴るような装置を提供する。本発明を崖崩れ危険個所の家屋毎若しくは近隣の数戸に1個設置することにより、危険雨量察知精度の向上と、前日までの雨量を考慮したより正確な警報を出す事が可能となる。

【選択図】 図1

